

《コロナウィルス明けの文化祭》

本年は感染症に気をつけながらも入場制限を設けない、以前の形に近い工業祭が4年ぶりに開催されました。生徒たちにおいても各自が率先して工業祭に向けての制作や、当日の来客対応に取り組む姿が随所で見られ、充実した高校生活的一幕となったように思います。今年度の新しい取り組みとして、下記のおばけ型の電飾看板は文化祭実行委員会を中心として作成しました。看板のデザイン、制作、設置など放課後の時間を使い完成させました。来場者の注目を引き、また写真撮影を行う姿も多く見受けられ集客に大きく貢献してくれました。生徒会としては文化祭実行委員会と協力して射的、スタンプラリーを企画し、構想から実施まで行いました。

今年のスローガン 『今を描く みんなの個性』



実はコバトンは川越工業高校で生まれた！？

2004年に埼玉県で開催された彩の国まごころ国体の大会マスコットとして本校の卒業生が、埼玉県の県の鳥「シラコバト」をモチーフにして授業中に描いたものです！









